

2023年度 公益財団法人日本財団助成
ウクライナ避難民に対する生活支援コーディネート
事業完了報告書

公益財団法人滋賀県国際協会

1. 事業名

ウクライナ避難民に対する生活支援コーディネート

2. 期間

2023年5月1日～2024年3月31日

3. 対象者

ウクライナ避難民 15組22名 (2024/3/31 現在)

4. 活動報告

(1) 日常生活のサポート

① 県・市行政、関係団体、企業との調整

- ・新しく滋賀県へ避難されてくる避難民の受入れに向けて調整を行った。
- ・国際交流団体等が主催する講演会への出講調整を行った。

② 身元保証人との調整

- ・避難民の希望と身元保証人との調整を行った。
- ・身元保証人からの相談対応、継続要請を行った。

③ 勤務先との調整

- ・就労への要請を行った。
- ・臨時職員から正社員への登用に向けての調整を行った。
- ・体調不良時の避難民と勤務先との連絡を行った。

④ フードバンクとの調整

- ・避難民や身元保証人からの希望を聴き取り、配達日・時間・内容等の調整を行った。

(2) 各種手続きの補助

① 在留カード更新・補完的保護対象者認定制度申請支援

- ・大阪出入国在留管理局大津出張所への申請支援を行った。

② パスポート更新支援

- ・東京の在日ウクライナ大使館での更新申請を支援した。

③ 市営住宅更新手続き支援

- ・入居する市営住宅の更新のため関係市住宅担当課との調整を行った。

(3) 生活支援金の支給

○しがウクライナ避難民応援支援金

- ・滋賀県、滋賀県国際協会およびしが外国籍住民支援ネットワークの協働により、しがウクライナ避難民応援支援金の募集を行った。
- ・累計16,743,320円(2024/3/31 現在)の支援金が寄せられた。
- ・寄せられた支援金により、新しく滋賀県へ避難されてきた避難民への生活支援金と住宅環境整備支援金の支給を行った。
- ・支給の手渡し時に、日本での生活様子実態の聞き取り、相談、声掛けを行った。

(4) 言葉のサポート

- ・日常生活、各種手続き、医療、就労、就学等での支援を行った。

(5) 医療、就労・就学支援など

①医療支援

- ・滋賀県内の病院では対応できない疾病を有する避難民のために、他府県の大学病院への通院支援を行った。
- ・居住地近くの病院では対応できない手術が必要となり、県内大学病院での施術、通院支援を行った。また、手術内容について避難民本人が正確に理解して施術を受けられるために医療通訳の確保、支援を行った。
- ・指定難病医療費助成受給のための支援を行った。
- ・歯科医への通院支援を行った。
- ・通院に伴う医薬品の購入支援を行った。

②就労支援

- ・民間企業への就労要請の調整を行った。
- ・体調不良時の勤務先との調整を行った。
- ・退職希望への調整を行った。
- ・正職員への就労条件変更の調整を行った。

③就学支援

- ・県教育委員会、市教育委員会、学校との調整を行った。
- ・学校の課外活動のための支援を行った。
- ・通学をして受ける日本の授業と、オンラインによるウクライナの授業との両立が図られるよう調整を行った。
- ・不登校児童に対応するためのケース会議への出席、協議を行った。

(6) 日本語教育支援（子どもの日本語学習を含む）

- ・学校での母語支援員の確保を調整した。
- ・関係機関、民間団体が行う日本語講座受講への調整を行った。

☆ 公益財団法人滋賀県国際協会 滋賀県国際交流・協力情報誌 S I A 2023 Vol.124 より抜粋 ☆

News

ウクライナについて【報告】

1

～しがウクライナ避難民 イリーナ マーリシェバ チュプラさんの講演より～

ロシアによる侵攻から1年以上が過ぎました。現在、滋賀県には11組18人のウクライナ避難民が生活しています。

今回は、栗東市に避難するイリーナさんが7月1日「あいこうか生涯カレッジ」でウクライナの暮らしや現在の心境などについて講演された内容をご紹介します。

ウクライナは、鉱工業を中心とした産業が盛んな国です。また、肥沃な黒土「チェルノーゼム」が広がり、ヨーロッパの“パンかご”と呼ばれ、農業も盛んです。公用語はウクライナ語で、芸術やスポーツも盛んなどとても美しい国でした。

しかし、戦争により美しい街は破壊され、物価も4～5倍に高騰。ロシアに隣接する地域で使われていたロシア語は使用されなくなり、毎年クリスマスに子ども達のところに来ていた青いガウンを着た“ジェドマロース”はロシアにルーツがあるため来なくなり、今は赤いサンタに代わりました。

現状についてイリーナさんは、「母国に残る夫のことを毎日心配している。毎日爆撃があり、最近では自宅近郊のザポロジエの原子力発電所への攻撃の噂があり大変憂慮している」とのこと。

日本での生活について聞かれると、「まずたくさんの感謝を伝えたい。多くの人からの支援により特に困ったことはない」とのことでした。

まだまだ、戦況は終息が見えず、避難も長期化が予想されます。

当協会では、滋賀県と協力して「しがウクライナ避難民応援支援金」を募集しています。皆様のご協力をお待ちしています。



▲左からウクライナの民族衣装を着たイリーナさんと息子のマークさん、通訳(英語)の阿部さん

「しがウクライナ避難民応援支援金」

<https://www.s-i-a.or.jp/news/757>

募金総額 16,656,026円

支援実績 9,426,180円

(2023年6月30日現在)

詳しくはHPをご覧ください

ウクライナ避難民とその家族が彦根にウクライナ料理店をオープンしました!

ウクライナ料理店「The Faina(ゼ ファイナ)」

彦根市本町1-7-36 夢京橋キャッスルロード

(JR彦根駅西口下車徒歩17分、月火休み)

<https://www.faina.tokyo/>

ウクライナ語で使用するキリル文字とあいさつ

こんにちは

「Привіт」(プリビット)

ありがとう

「Дякую」(チャークユ)

バイバイ

「Бувай!」(ブヴァイ)